

広島大学

令和4年度一般選抜(前期日程)・
外国人留学生選抜B日程2月実施

解答例

科目名：

国語総合(近代以降の文章)・現代文B

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

第一問

問一 a. 潜 b. 連関 c. 廃棄 d. 習俗

問二 九官鳥が筆者の声で発した「おはよう」と九官鳥が逃げ惑い恐怖を感じている様子との間に存在する違い。

問三 エ

問四 「自然の」声を失って、特定の言語という制度のなかでしか自己を音声的に表出しえなくなっている（こと）

問五 「ぐーっ」や「ぎゃーっ」という自然的発声が「痛い」「熱い」「あっちっち」といった言語での唸りや叫びになるということ。

問六 相手の表情からその人の感情を読み取るのではなく、特定の規則に従いつつ、その人の感情そのものとして表情を理解する。

問七 ある人の言葉を言葉として受けとる側の感触

問八 他者に語る時にも、他者の言葉を聴く時にも、テキストとしての言葉の意味にのみ意識が向けられ、それが他者にどのようなように受け取られるかというテクスチュアが無視されたり、十分に理解されなかったりするから。

第二問

問一 深井が様々な言葉を用いて熱心に川上の劇団で役者になりたいという希望を述べたにもかかわらず、川上の方は笑って相手にしなかった（拒絶した）様子。

問二 天性の誇張家

問三 深井は真面目な役は一つも振られない、いい年をして観客を笑わせるだけの（道化を演じているだけの）自分の地位にけっして満足しておらず、自ら己の境涯を笑っており、父として息子には決して同じ思いを味合わせたくはないと考えていたから。

問四 その幕では虎が清岡球江に喰いつこうとするだけでなく、深井の演じる虎が主役級に目立つだろうという意味。

問五 一種の啓示・・・虎という役を研究するために（神から）与えられた絶好の機会。

一種の皮肉・・・虎というセリフもない役を与えられた事実を改めて認識させ、揶揄するかのような子の誘い。

（別解）子はそれと意図していないにもかかわらず、結果として父に虎という役を研究させる機会を与えたこと。

問六 劇場において観客を笑わせるために与えられた役を演じている深井と、檻の中に鎖され、本来の活力を奪われて動くこともない虎という、両者ともに多くの人目にさらされながらも、当人には不満足な生の在り方。

問七 動物園で虎をみつめるうちに、虎と同じ心持で同じ事を考えていると感じるまで切実に虎の気持ち解ると確信した深井は、虎の役を演じることに手応えと意欲を持ち得たから。（八十字）

第三問 解答

問一 言う

問二 ・語れない人の想いを家族が代わりに語る場合

・家族の想いを語れない人の言葉を借りて語る場合

問三 家族の語りを通じて、語らない人と家族の物語がいつしよに展開する状態。

問四 死んだ人がまるで生きて話をしているかのような感覚があると考えているから。

問五 意識の中に相手がリアリティーをもって現れてくるときに生まれる関係性。

問六 寝たきりの人が「ただそこに在ること」で、私たちに何を語りかけているのか、何をしろと言っているのかを問うこと。